

全国大学書道学会

会報

11

平成25年(2013)
3月31日発行
全国大学書道学会

ごあいさつ

理事長 平形 精一

平成二十四年度の大会は、岡田直樹先生の御尽力で十月八日に京都教育大で開催されました。運営に御協力いただきました隣接の滋賀大中村史朗先生をはじめとする関係者各位に厚く御礼を申し上げます。前日夕方には全国各地から選出された十余名の理事が参集され理事会も開かれました。

研究発表は少なめの六件でしたので会科会形式をとらず、充実した会場となりました。また全国大学書写書道教育学会々長・浦野俊則先生による記念講演が「金文による書の表現と近年出土の優品」と題して行われました。限られた時間でしたが、第一部で印刷技術の進歩をふまえ「金文著録の出版と書作の環境」を詳細に紹介された後、第二部では映像により近現代書家の「金文による書の作例」を取り上げて自身の創作体験から検証を加え、第三部では年々増加する「近年出土の金文」から「その書法・書道史研究上の意味」を考察し、理論と作品の両面から書の研究のあり方を示された大変密度の濃い講演でした。実作や表現と無関係の書学書道史の研究も見かけますが、本学会ならではのテーマや手法は参加者にとっても意義深いものがあり、先生の深い学識に敬意を表すると共に感謝申し上げる次第です。

大学の教育資料館での会員書作展は、昨年やや増加したものの今回は四十九点の出品で例年並にもどりました。二倍近かった往時には及びませんが実作にも意欲を燃やす会員の志気が会場には満ち溢れていました。

さて、本年度の成果は多年の懸案であった高校書道免許状に対応したテキスト『書の古典と理論』（光村図書出版）の刊行が実現したことです。立場上、原稿の執筆や整理にも精力を費やしましたが、実質的な編集長として日子を惜しまず御尽力下さった横田先生には、編集委員や御執筆の会員ともども厚く御礼申し上げます。「まえがき」にも記しましたように、不備を御指摘いただき、より使いやすい内容に向けて次の改訂に備えたいと思います。

一方、若い世代では御存知の方も少ないでしょうが、本会の発展に多大な御功績をいただいた小木良一（太法）先生が御逝去されたとの悲報が届きました。先生は東京学芸大で長く教鞭をとられ、本会の幹事長（現理事長）・会長を歴任される一方、書家としても独自の書風を展開されるなど、大学の書道人としてのあるべき姿を自ら実践され私達をお導き下さいました。先生と親交の深かった野中浩俊会長に追悼文をお願いいたしました。在りし日を偲び御冥福をお祈り申し上げます。

来年度の学会は、群馬大学の永由徳夫先生が着任して数年しか経っておりませんのに率先してお引き受け下さいました。ここ四十数年来では京都教育大と同様、初めての開催地となります。私が高校までを過ぎた懐かしの地でもあり大成功を願わずにはいられません。会員の一人でも多くの研究発表や書作展への出品を御期待しつつ、上州で皆様にお目にかかります日を楽しみにしています。



研究発表

全国大学書道学会

平成二十四年度（京都）大会を終えて

京都教育大学 岡田 直樹

平成二十四年十月八日（月・祝）全国大学書道学会を京都教育大学で開催させていただきました。おそらく京都地区で同学会が開催されたのは初めてではないでしょうか。

当日は開会式・総会に引き続き、午前中は研究発表が三件ありました。また午後の部は研究発表三件の後、植草学園大学教授の浦野俊則先生による「金文による書の表現と近年出土の優品」という演題の大会記念講演がありました。私自身、開催校としての実務も重なり、ゆっくり発表を拝聴する時間がとれなかったのですが、仕事の合間に覗いた教室は熱気に溢れていました。

ただし残念なのは、ここ二、三年発表件数が減少傾向にある事です。必ずしも発表件数の多少を競うものではなく、内容が大切なのは重々承知しておりますが、前日の書写書道教育学会の四教室に分かれての二十四件の発表と比べて、どこことなく寂しさを感じたのも事実です。何らかの対策を講じる必要があるのではないのでしょうか。

また、同学会主催の会員書作展は十月六日（土）～八日（月・祝）京都教育大学教育資料館にて開催させていただきました。

た。本来は教育資料を展示する場所であり、書作品を展示するには少々手狭でしたが、京都教育大学の構内にある為、気軽に足を運んで鑑賞して頂けたのは良かったのではないかと思います。

最後になりますが、事務局、当日の進行など多くの先生方にお世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。また、裏方として精力的に働いてくれた滋賀大学、京都教育大学の学生諸君にも、この場を借りてお礼を申し上げます。に、今後はこのような学会で研究発表ができるよう更に勉学に努めてくれることを期待しています。また、来年度開催予定の群馬大学での学会が盛会になりますことと、全国大学書道学会の更なる発展を祈念して、責を終えたいと思います。



会員書作展



大会記念講演

全国大学書道学会 平成 24 年度 (京都) 大会 次第

日 時 平成 24 年 10 月 8 日 (月・祝)
会 場 京都教育大学
開催大学 京都教育大学
後 援 京都府教育委員会／京都市教育委員会

● 9:00 受 付 (参加費 会員 4,000 円 準会員〈大学院生〉 2,000 円)

● 9:30 平成 24 年度総会／開会式 (共通講義棟〈F 棟〉1 階・F16 教室) 司 会: 事務局

1. 開会のことば	横田 恭三 (跡見学園女子大学)
2. 開催大学あいさつ	京都教育大学学長 位藤紀美子 先生
3. 会長あいさつ	野中 浩俊 (岐阜女子大学)
4. 理事長あいさつ	平形 精一 (常葉学園大学)
5. 議事	議 長 辻井 義昭 (北海道教育大学名誉教授)
1) 平成 23 年度事業報告 → 資料 1	石井 健 (東京学芸大学)
2) 平成 23 年度決算報告 → 資料 2	柿木原くみ (相模女子大学)
3) 平成 23 年度監査報告	大橋 修一 (埼玉大学)
4) 平成 24 年度事業計画 (案) → 資料 3	石井 健 (東京学芸大学)
5) 平成 24 年度予算 (案) → 資料 4	柿木原くみ (相模女子大学)
6) その他	
6. その他	
1) 学会誌について	鈴木 晴彦 (日本大学)
2) 高等学校書道教員免許対応テキストについて	横田 恭三 (跡見学園女子大学)
3) 次年度開催大学あいさつ	永由 徳夫 (群馬大学)
4) 新入会員紹介 → 資料 5	事務局
5) その他	
7. 閉会のことば	鶴田 一雄 (新潟大学)

● 10:40 ~ 12:20 研究発表 午前の部

【会場: F16 教室】 司 会: 神野 雄二 (熊本大学)

10:40 ~ 11:10

慶長期の本阿弥光悦書状の様相について

新潟大学大学院修士課程 2 年 近藤 和馬

11:15 ~ 11:45

小杉楹郎『大日本美術史』研究 - 「日本書道史」の成立 -

畠山記念館 柳田さやか

11:50 ~ 12:20

冊封使によって琉球へもたらされた中国書蹟について - 「冊封使録」を中心に -

東京都立駒場高等学校教諭 城間 圭太

● 12:20 ~ 13:10 休 憩

● 13:10 ~ 14:50 研究発表 午後の部

【会場: F16 教室】 司 会: 大橋 修一 (埼玉大学)

13:10 ~ 13:40

雲南爨氏石刻考

東京学芸大学准教授 橋本 栄一

13:45 ~ 14:15

後藤芝山の書業に関する一考察

四国大学准教授 太田 剛

14:20 ~ 14:50

北朝墓誌の作製と中央省官の関連性 - 中書舍人 常景を端緒として -

愛媛大学教授 東 賢司

● 15:00 ~ 16:10 大会記念講演 (共通講義棟〈F 棟〉1 階・F16 教室)

演 題 「金文による書の表現と近年出土の優品」

講 師 浦野 俊則 先生 (植草学園大学教授)

● 16:10 閉 会

《 会員書作展 》

会 期 10月6日(土)～10月8日(月・祝)
会 場 京都教育大学／教育資料館(学びの森ミュージアム)

《 理事会 》

日 時 10月7日(日) 17:00～18:15
会 場 京都教育大学／共通講義棟(F棟)1階・F15教室

《 三学会合同懇親会 》

日 時 10月7日(日) 18:30～20:30
場 所 藤森神社参集殿
会 費 6,000円(大学院生は3,000円)

資料1

平成23年度事業報告 → 承認

(平成23年) 6月 5日	臨時三学会役員代表者会(平成23年度茨城大会について)
6月 中旬	平成23年度(茨城)大会第1次案内作成
6月 14日	平成23年度(茨城)大会要項(第1次)、会員書作展出品要項、会報、学会誌、会員票、会費払込用紙等 発送
7月 4日	平成23年度(茨城)大会研究発表応募締切日
7月 28日	常任幹事会 〈平成23年度(茨城)大会、発表者及び発表順、総会議事案、役員改選等 について〉
8月 5日	平成23年度会員書作展作品送付締切日
8月 17日	平成23年度(茨城)大会要項(第2次)、発表要旨集発送
9月 12日	学会誌論文投稿申込締切日
9月 17～19日	平成23年度会員書作展(茨城県立県民文化センター県民ギャラリー)
9月 17日	幹事会(茨城大会、役割分担確認、総会議事検討)
9月 18日	平成23年度(茨城)大会(総会、研究発表)／三学会合同懇親会
11月 18日	学会誌投稿論文受付締切日
11月下旬～	学会誌投稿論文査読
12月 25日	常任幹事会(査読結果確認及び学会誌の発行について)
(平成24年) 1月～3月	学会誌編集
3月 9日	常任幹事会／三学会合同役員会(茨城大会反省、24年度京都大会について)

資料2

平成23年度決算報告 → 承認

A：収入の部	
1) 平成22年度繰越金	1,535,154円
2) 平成23年度会費(227名)	1,567,000円
3) 雑収入(預金利息)	86円
合 計	3,102,240円
B：支出の部	
1) 茨城大会運営補助費	120,000円
2) 幹事会費(会議費：124,781円、交通費：158,320円)	283,101円
3) テキスト編集委員会費	88,329円
4) 通信費	153,670円
5) 印刷費(学会誌：262,500円、会報：105,000円)	367,500円
6) 事務費(消耗品費・会費払込手数料他)	68,313円
合 計	1,080,913円
(A) 収入	— (B) 支出 = 次年度繰越金
3,102,240円	— 1,080,913円 = 2,021,327円

上記の通り報告いたします。
以上相違ありません。

平成24年10月7日
平成24年10月7日

事務局会計担当
監 査
同

柿木原くみ ㊞
大橋 修一 ㊞
岡本 直人 ㊞

資料3

平成24年度事業計画（案）→ 承認

(平成24年)	4月29日	高等学校書道教員免許対応テキスト編集委員会（日本大学）
	5月13日	常任理事会／高等学校書道教員免許対応テキスト編集委員会（跡見学園女子大学）
	5月19日	高等学校書道教員免許対応テキスト図版撮影（淑徳大学）
	6月中旬	平成24年度（京都）大会案内はがき作成・発送
	7月10日	平成24年度（京都）大会要項（第1次）、会員書作展出品要項、会員票、会費払込用紙発送
	7月27日	平成24年度（京都）大会研究発表応募締切日
	7月29日	常任理事会〈平成24年度（京都）大会、発表者及び発表順、総会議事案、高等学校書道教員免許対応テキスト等 について〉
	8月9日	常任理事会／三学会合同役員会（京都大会について）
	8月10日	平成24年度会員書作展作品送付締切日
	9月3日	高等学校書道教員免許対応テキスト編集委員会（跡見学園女子大学）
	9月8日	平成24年度（京都）大会要項（第2次）、会報、学会誌等 発送
	10月1日	学会誌論文投稿申込締切日
	10月6～8日	平成24年度会員書作展（京都教育大学／教育博物館・学びの森ミュージアム）
	10月7日	理事会（京都大会、役割分担確認、総会議事検討）／三学会合同懇親会
	10月8日	平成24年度（京都）大会（総会、研究発表、大会記念講演）
	11月16日	学会誌投稿論文受付締切日
	11月下旬～	学会誌投稿論文査読
	12月下旬	常任理事会（査読結果確認及び学会誌の発行について）
(平成25年)	1月～3月	学会誌編集
	3月中旬	常任理事会／三学会合同役員会（京都大会反省、平成25年度大会について）
	3月下旬	高等学校書道教員免許対応テキスト刊行

資料4

平成24年度予算（案）→ 承認

A：収入の部		
1) 平成23年度繰越金		2,021,327 円
2) 平成24年度会費収入（200名）		1,200,000 円
合 計		3,221,527 円
B：支出の部		
1) 京都大会：運営費補助		120,000 円
2) 理事会費（会議費：200,000 円、交通費：200,000 円）		400,000 円
テキスト編集委員会費		300,000 円
3) 通信費		200,000 円
4) 印刷費：学会誌・会報		600,000 円
5) 事務費（消耗品費・会費払込手数料他）		100,000 円
6) 予備費		1,501,527 円
合 計		3,221,527 円

資料5 平成24年度（茨城大会以後、京都大会まで）新入会員・準会員／退会・退会申出者 暫定一覧

《 会 員 》	鈴木 清（県立奈良情報商業高等学校）
	荒金 治（別府大学講師）
	計良 裕佳（相模女子大学講師）
	齋藤 英男（武蔵野学院大学准教授）
	金田 充康
《 準会員 》	進士さき子（東京学芸大学大学院修士課程／長野秀章）
	打越 茉衣（東京学芸大学大学院修士課程／加藤泰弘）
	小澤 恵（東京学芸大学大学院修士課程／長野秀章）
	小林 由佳（東京学芸大学大学院修士課程／加藤泰弘）
《 退会・退会申出者 》	
	小田部朗子 中澤 功 村井 清志 進藤 英幸

資料6 全国大学書道学会役員一覧 平成24年4月から平成26年3月まで *は新任

参 与 会 長 副 会 長	加藤 達成 渡辺富美雄 吉田 繁 城所 正 小木 良一
	野中 浩俊（岐阜女子大学）
	前田舜次郎（元跡見学園女子大学教授）
	* 竹之内裕章（佐賀大学）
理 事 長 副理事長 常任理事	平形 精一（常葉学園大学）
	横田 恭三（跡見学園女子大学）
	鶴田 一雄（新潟大学） [学会誌編集担当]
	鈴木 晴彦（日本大学） [学会誌編集担当]
	* 小川 博章（淑徳大学） [学会誌編集担当]
	柿木原くみ（相模女子大学） [事務局・会計担当]
	石井 健（東京学芸大学） [事務局・庶務担当]

理 事（地区担当） *各地区原則2名	
[北海道]	辻井 義昭（北海道教育大学名誉教授）
	* 須田 義樹（北海道教育大学）
[東 北]	玉澤 友基（岩手大学）
[北 陸]	押木 秀樹（上越教育大学）
	* 角田 勝久（新潟大学）
[関 東]	森岡 隆（筑波大学）
[東 海]	* 木村 博昭（愛知教育大学）
	* 中根 安治（岐阜女子大学）
[近 畿]	* 萱 のり子（大阪教育大学）
	* 岡田 直樹（京都教育大学）
[中 国]	日比野貞勝（広島文教女子大学）
	* 谷口 邦彦（安田女子大学）
[四 国]	東 賢司（愛媛大学）
	* 森上 洋光（四国大学）
[九 州]	* 小原 俊樹（福岡教育大学）
	* 神野 雄二（熊本大学）

理 事（会務担当） *若干名	
	* 杉山 勇人（鎌倉女子大学）
	* 見城 正訓（静岡大学）
監 査	大橋 修一（埼玉大学）
	岡本 直人（元帝京大学講師）

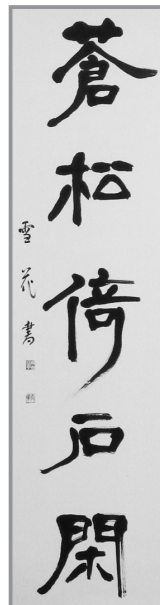
平成二十四年度

全国大学書道学会会員書作展

会期 平成二十四年十月六日(土)～八日(月・祝)

会場 京都教育大学／教育資料館(学びの森ミュージアム)

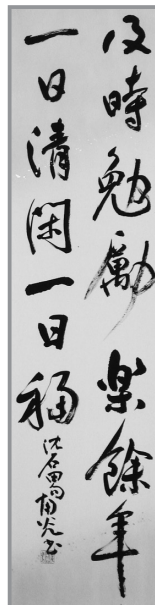
1 無題 青木雪花(武蔵野大学)



2 漢詩 青木雪峰



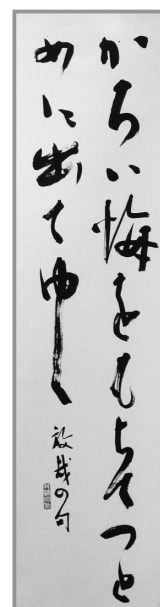
3 一日清閑一日福 東南光(徳島大学)



4 夢絆 井澤秀彦(恵泉女学園大学)



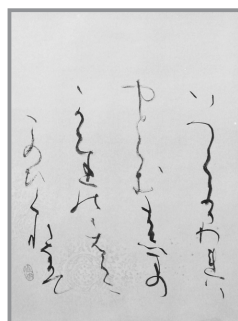
5 尾崎放哉の句 石井健(東京学芸大学)



6 古都(川端康成の文) 井上雲開(浦和明の星女子中学高等学校)



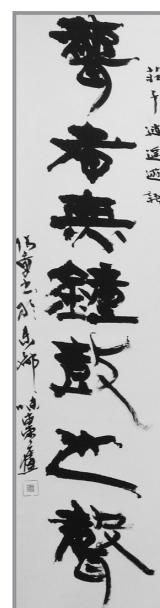
7 羈旅 岡田直樹(京都教育大学)



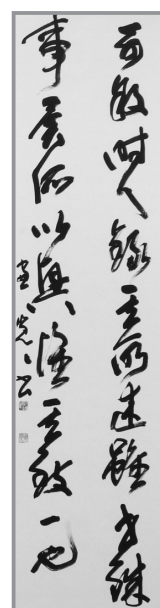
8 随方圓之器 小川貴史(新潟高等学校)



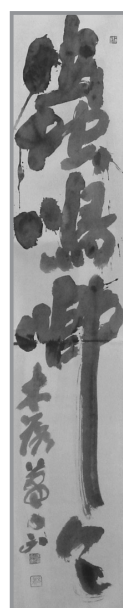
9 莊子句 小川博章(淑徳大学)



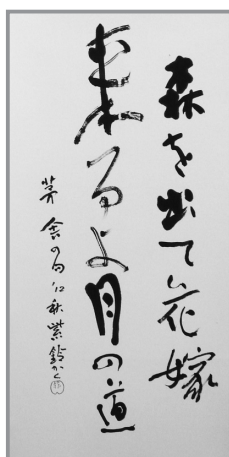
10 蘭亭叙の一節 小倉窓寛(山口大学)



11 秋聲 尾西正成(京都教育大学)



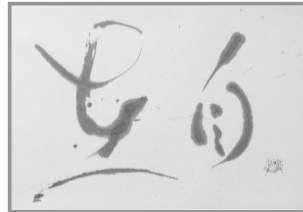
12 川端茅舎の句 柿木原紫鈴(相模女子大学)



13 とかす力だ それがすべてだ (八木重吉)
加藤雄繁 (東京学芸大学)



14 自在 加藤東陽 (東京学芸大学)



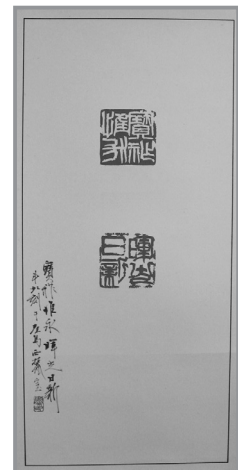
15 獅子吼 加藤龍堂 (浄土宗教師修練道場 (院))



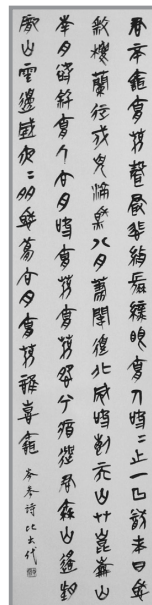
16 魚戯蓮葉間 見城正訓 (静岡大学)



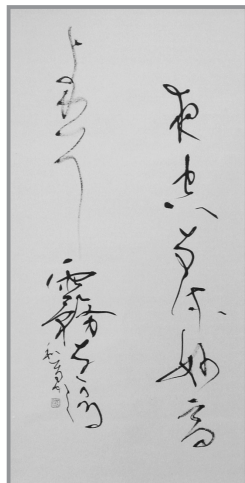
17 寶作惟永 暉光日新 小西斗虹 (香川大学)



18 胡笳歌送顔真卿使赴川隴 小林比出代 (信州大学)



19 秋桜子句 近藤和馬 (新潟大学 (院))



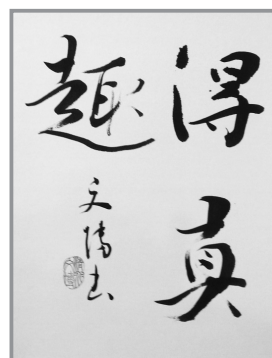
20 懷德維寧 齋木華溪 (茨城大学)



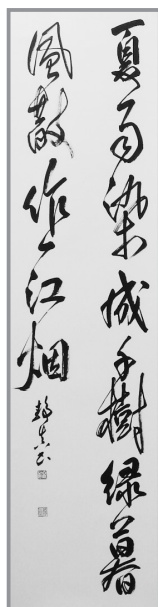
21 芙蓉樓送辛漸の一節 渋谷美登里



22 得真趣 清水文博 (東京学芸大学)



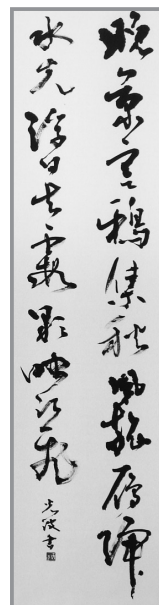
23 錢惟善詩 白鳥静真 (立正大学)



24 以一行萬 神野大光 (熊本大学)



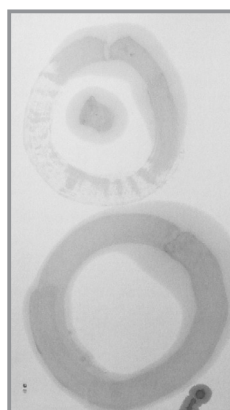
25 張均詩 杉崎光波 (静岡大学)



26 無題 杉山勇人 (鎌倉女子大学)



27 Reflection of the Sun 田端理恵 (東京学芸大学 (院))



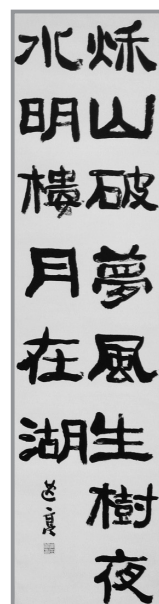
28 深蔵如虚 塚本虚齋 (和洋女子大学)



29 南無三 角田勝久 (新潟大学)



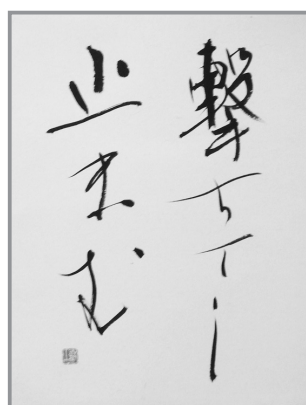
30 文徵明詩 鶴田逸亭 (新潟大学)



31 七言二句 土橋草石 (比治山大学)



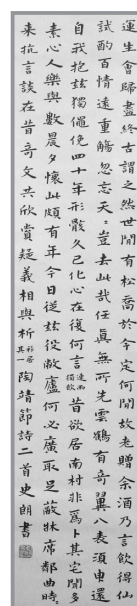
32 撃ちてし止まむ (古事記より) 豊口和士 (文教大学)



33 「格」六態 長野竹軒 (東京学芸大学)



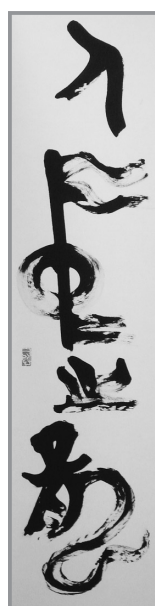
34 陶淵明詩 中村史朗 (滋賀大学)



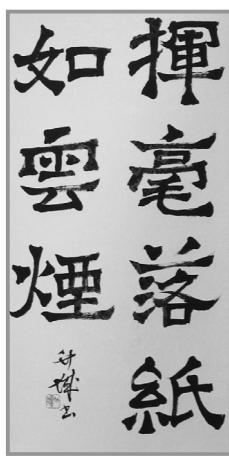
35 結繩 野中吟雪 (岐阜女子大学)



36 人中之龍 服部一啓 (福岡教育大学)



37 杜甫「飲中八仙歌」 樋口竹城 (千葉大学)



38 論語之句 平形精逸(常葉学園大学)



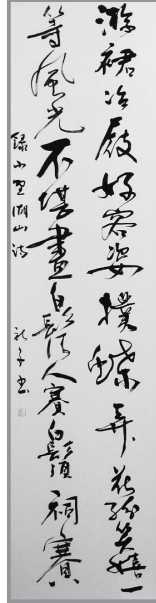
39 清水の舞台 廣瀬舟雲(武蔵野大学)



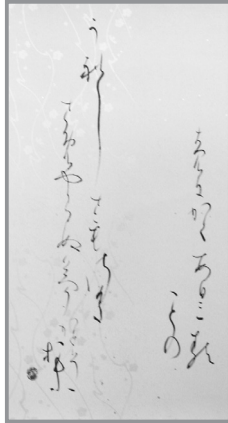
40 自樂平生道 弘中雄太(日本習字教育財団)



41 小野湖山詩 藤瀬礼子(了徳寺大学)



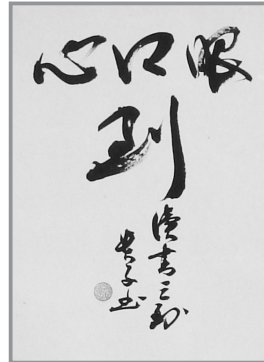
42 嬉 藤田朱雀(武庫川女子大学)



43 紫(ゆかり) 本田容子(前・目白大学)



44 讀書三到 松本貴子(大東文化大学)



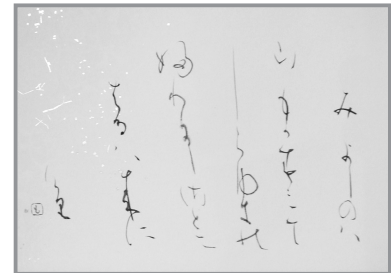
45 直心不變 森上洋光(四国大学)



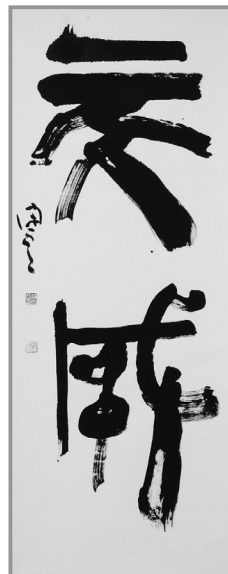
46 蟬蛻龍変(東方朔画贊より) 森山淡草



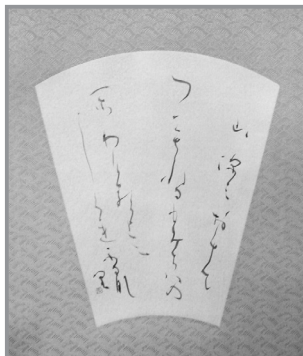
47 みよしのは 柳澤ももこ(岐阜女子大学)



48 天成 横田閑雲(跡見学園女子大学)



49 山ふかみ 和田蒼龍(東京大学)



太法 小木良一先生を送る

会長 野中 浩俊

昨年十月二十九日、本会参与小木良一（号太法）先生が逝去された。

先生は東京学芸大学教授在任中から、長い間、本学会幹事長、会長の職を歴任、その間、学会の運営に携わり年々会員が増加する中、本会発展に大きく寄与された。中でも本学会永年の悲願であった学術団体登録を成し遂げ、その後の査読制度導入へと導かれた功績は大きい。

先生は昭和八年福井県に生まれ、武生高等学校卒業後に上京、東京学芸大学書道科在学中より書に篆刻にその才を認められ、大学卒業後は独立書人団の俊英としてめきめき頭角を現され、その後、母校東京学芸大学の教官として迎えられました。丁度その頃、新潟大学に着任しました私は、ふとした折に先生と邂逅、先生の書や教育に対する理念に共鳴し、以来四十年に及ぶ長い間、より身近な先輩として仰ぎ接して参りました。学芸大学での先生の熱い講義や学生展を拝見する機会も多く、また、先生もしばしば来越され、新潟大学の学生達と身近に接してご指導頂き、学生同士も互いに姉妹校の如き様相を呈して実に活気に充ちた時代を築くことが出来ました事、今でも鮮明に脳裏に浮かんで参ります。

先生はその間、独立展や毎日書道展で年々話題作を発表されました。

一方、現代の書道界に一つの動きを…と、同志と共に「筆による書の作品発表とペンによる執筆活動の両立」を主張する「不手非止」運動を提唱、同人誌『不手非止』は時代に一つの波紋を投げかける役割を果たすことが出来ました。

さらに、先生は学芸大学教官のかたわら文部省視学官を兼任され、書学・書道教育の先頭に立ち、我国の書教育に大きな足蹟を残されました。

このように学び・創り・語り・飲み・闘い…、まさに八面六臂、その体力と常に前向きな活動思考を以て貫かれた生涯は、きわめて个性的で、時には周囲をハラハラさせる言動など、実に波瀾に富んだ人生を送られました。

ここ数年、体調を損なわれ、外出も控え目で周囲も先生のご体調を案じていた矢先の訃報に只々一驚、誠に残念でなりません。

先生のご遺志は私共遺された者で受け継いで参りたいと思います。本当に有難うございました。どうか安らかにやすみ下さい。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

平成二十四年度全国大学書道学会 会員・準会員一覧

相川 匡也	栃木県	栃木大学	大野 幸子	埼玉県	埼玉県	川原 淳	東京都	東京大学	清水 文博	東京都
青木 馨子	東京都	武蔵野大学	大橋 修一	埼玉県	埼玉県	岸野 大	広島県	県立尾道北高等学校	下田 文博	茨城県
青木 悟	静岡県	大森アウミ	大森アウミ	長崎県	長崎県	北畠 康成	大阪府	清明学院高等学校	下田 章平	福島県
青木 辰樹	埼玉県	県立大宮光陵高等学校	岡田 直樹	京都府	京都府	木寺 将大	福岡県	福岡教育大学大学院修士課程	白石 一貴	宮城県
青戸 貴子	鳥取県	米子市立美術館	岡田 新子	兵庫県	兵庫県	衣川 彰人	愛知県	横浜国立大学名誉教授	白鳥 ゆう子	新潟県
青山 浩之	神奈川県	横浜国立大学	岡崎 忍	神奈川県	神奈川県	草津 祐昭	愛知県	愛知教育大学	城間 圭太	東京都
赤江 貞夫	大阪府	大阪府	岡村 浩	新潟県	新潟県	九澤 亮子	東京都	愛知教育大学	進士 さき子	東京都
赤岸 恵	神奈川県	大原簿記専門学校	岡本 直人	神奈川県	神奈川県	久多見 健	熊本県	愛知教育大学	神野 雄二	熊本県
赤平 和順	東京都	大正大学	小川 崇	埼玉県	埼玉県	名古健一郎	愛知県	愛知教育大学	水田 至摩子	埼玉県
浅川 学	山梨県	県公立中学校	小川 貴史	新潟県	新潟県	熊川 南	福岡県	愛知教育大学	杉浦 妙子	東京都
東 國恵	徳島県	徳島大学名誉教授	小川 博章	埼玉県	埼玉県	熊坂 尚史	東京都	愛知教育大学	杉崎 哲子	静岡県
綾部 宏行	東京都	早稲田大学	奥原 悠斗	埼玉県	埼玉県	倉本 優子	福岡県	愛知教育大学	杉山 勇人	神奈川県
荒井 一浩	東京都	東京学芸大学附属高等学校	小倉菊太郎	東京都	東京都	黒田 悟史	福岡県	愛知教育大学	鈴木 かおる	神奈川県
荒金 信治	大分県	別府大学	小黒 哲也	山口県	山口県	黒田 忠志	埼玉県	愛知教育大学	鈴木 清	奈良県
荒金 治	大分県	別府大学	小口 かおり	新潟県	新潟県	黒丸 寛子	広島県	愛知教育大学	鈴木 晴彦	長崎県
五十嵐康子	神奈川県	麻布学園	小澤 恵	東京都	東京都	計良 裕佳	埼玉県	愛知教育大学	鈴木 真理子	千葉県
五十嵐ももこ	神奈川県	都立荻窪高等学校	押木 秀樹	新潟県	新潟県	見城 正訓	群馬県	愛知教育大学	須田 義樹	北海道
井川恵津子	福岡県	福岡教育大学大学院修士課程	落石 園美	東京都	東京都	高口 盛幸	静岡県	愛知教育大学	砂川 さつき	福岡県
池田 孝一	千葉県	志学館中学校	小原 俊樹	福岡県	福岡県	小竹 正高	岡山県	愛知教育大学	住川 英明	鳥取県
池田 利廣	大阪府	大阪教育大学	柿木原くみ	東京都	東京都	小西 憲一	香川県	愛知教育大学	高木 厚人	千葉県
池田 史子	広島県	安田女子大学名誉教授	風岡 正明	愛知県	愛知県	小浜 大明	長野県	愛知教育大学	高澤 浩一	埼玉県
池村絵美理	静岡県	恵泉女学園大学	勝又 奈緒	神奈川県	神奈川県	小林 圭	茨城県	愛知教育大学	鷹啄 知美	埼玉県
井澤 秀彦	東京都	東京学芸大学	勝目 浩司	福岡県	福岡県	小林比出代	信州大学	愛知教育大学	高橋美穂子	神奈川県
石井 健	埼玉県	昭和女子大学	加藤 亜希子	新潟県	新潟県	小林 由佳	栃木県	愛知教育大学	高柳 克匡	東京都
板橋 聡美	東京都	明星大学／日本大学	加藤 達成	京都府	京都府	小川留美子	福島県	愛知教育大学	滝口 雅弘	静岡県
伊藤 忠綱	千葉県	新潟大学／日本大学	加藤 泰弘	東京都	東京都	込谷 陽彦	東京都	愛知教育大学	田口伊基子	千葉県
伊豆名皓美	新潟県	武蔵野大学大学院	加藤 祐司	埼玉県	埼玉県	近藤 和馬	新潟県	愛知教育大学	竹嶋 秀聡	三重県
井上 悠	東京都	武蔵野大学第二高等学校	加藤 祐司	東京都	東京都	齋藤 久美	千葉県	愛知教育大学	竹之内裕章	佐賀県
打越 茉衣	茨城県	星野学園小学校	金子 章乃	東京都	東京都	齋藤 英男	埼玉県	愛知教育大学	谷口 邦彦	広島県
海野 陽子	埼玉県	植草学園大学	金子 馨	東京都	東京都	齋藤 之孝	神奈川県	愛知教育大学	田畑 理恵	東京都
浦野 俊則	埼玉県	横浜国立大学大学院修士課程	亀石 充康	大阪府	大阪府	坂井 昭彦	新潟県	愛知教育大学	玉澤 友基	岩手県
江島 史織	東京都	静岡大学大学院	嘉屋 孝彦	徳島県	徳島県	坂井 孝次	福岡県	愛知教育大学	陳 天	福岡県
大柄みや子	東京都	静岡大学大学院	萱 のり子	広島県	広島県	佐々木佑記	東京都	愛知教育大学	陳 佳麟	東京都
大木亜希子	京都府	四国大学	萱 晋	奈良県	奈良県	佐藤 英樹	東京都	愛知教育大学	塚本 宏	東京都
太田 景子	静岡県	北海道清田高等学校	河合 廣太郎	埼玉県	埼玉県	塩田入みどり	長野県	愛知教育大学	辻 尚子	徳島県
太田 剛	徳島県	北海道清田高等学校	河合 洋輔	東京都	東京都	塩出智代美	広島県	愛知教育大学	辻井 義昭	北海道
太田 知美	北海道	北海道清田高等学校	河合 仁	東京都	東京都	重友 克美	東京都	愛知教育大学	土田 奈美	新潟県
大滝 英輔	東京都	北海道清田高等学校	河合 仁	東京都	東京都	小竹 光夫	兵庫県	愛知教育大学	角田 勝久	新潟県
						渋谷みどり	静岡県	愛知教育大学	津村 幸恵	千葉県

鶴田 一雄	新潟県	新潟大学	東 賢司	愛媛県	愛媛大学
手代木真美	新潟県	新潟大学	日比野貞勝	広島県	広島文教女子大学
徳泉 さち	埼玉県	早稲田大学大学院	平形 精一	静岡県	常葉大学
徳廣 彩佳	福岡県	福岡教育大学大学院修士課程	平田 光彦	岩手県	岩手大学
利光亜希子	福岡県	県立博多青松高等学校	廣瀬 裕之	東京都	武蔵野大学
土橋 幸正	広島県	比治山大学	弘中 雄太	滋賀県	日本習志教育財団
飛田 博昭	茨城県	県立水戸南高等学校	福島 一浩	東京都	二松学舎大学
登丸 昌子	神奈川県	横浜国立大学大学院修士課程	福島 肇	千葉県	和洋女子大学名誉教授
富久 和代	徳島県	四国大学	福田 紗季	千葉県	新潟大学大学院修士課程
豊口 和士	神奈川県	文教大学	福光 佐今	大阪府	奈良教育大学
豊島 嘉穂	福岡県	四国大学	福元 隆寛	福岡県	福岡教育大学大学院修士課程
豊田 宗児	奈良県	奈良教育大学	藤瀬 礼子	千葉県	了徳寺大学
直井 誠	千葉県	千葉大学	平馬季三代	新潟県	
仲川 恭司	埼玉県	専修大学	細谷 恵志	千葉県	了徳寺大学
中川 寿郎	兵庫県	四天王寺国際仏教大学	本多 和宏	千葉県	県立四街道高等学校
中島 好治	熊本県	県立牛深高等学校	本田 容子	岩手県	盛岡大学
中根 安治	愛知県	岐阜女子大学	前田舜次郎	東京都	元跡見学園女子大学
中元 雅昭	東京都	日本大学	幕田 隆	千葉県	千葉大学
長沼 雅彦	秋田県	秋田大学	増田 与久	静岡県	浜松学芸高等学校
長尾 秀則	京都府	仏教大学	松浦 貢	埼玉県	東洋大学
長野 秀章	東京都	東京学芸大学	松尾 治	埼玉県	県立羽生高等学校
永由 徳夫	東京都	群馬大学	松尾 志穂	長崎県	
名部 勝美	滋賀県	淡海書道文化専門学校	松永 恵子	静岡県	
成瀬 靖子	東京都	都立杉並高等学校	松本 貴子	千葉県	大東文化大学
西川 竜也	北海道	松前高等学校	松本 仁志	広島県	広島大学
西口 雅子	静岡県	静岡大学	丸山 香織	兵庫県	立命館大学大学院
西田 健	東京都		丸山 由香	神奈川県	県立久里浜高等学校
西橋 靖雄	奈良県	大阪教育大学名誉教授	荻毛 政雄	徳島県	四国大学
西山 明美	兵庫県	武庫川女子大学	宮澤 正明	山梨県	山梨大学
仁田幸一郎	東京都		宮村 弦	静岡県	
野中 浩俊	新潟県	岐阜女子大学	宮脇 玄徳	北海道	札幌龍谷学園高等学校
信廣 友江	広島県	安田女子大学	村山 昌央	北海道	北海道教育大学釧路校
橋本 栄一	埼玉県	東京学芸大学	森 常雄	茨城県	茨城大学
蓮見 行廣	東京都	東洋大学	森 哲之	広島県	広島文教女子大学
長谷川千恵子	神奈川県	県立茅ヶ崎高等学校	森岡 純二	滋賀県	淡海書道文化専門学校
長谷川昌弘	愛知県	愛知学院大学	森岡 隆	茨城県	筑波大学
波多野彩佳	新潟県		森上 洋光	徳島県	四国大学
服部 一啓	福岡県	福岡教育大学	森下 弘	広島県	安田女子大学
濱田 瑞美	神奈川県	早稲田大学	守田 晃	静岡県	県立北筑高等学校
林田俊一郎	熊本県	尚絅大学	森山 華那	福岡県	
樋口 咲子	群馬県	千葉大学	森山 秀吉	熊本県	熊本県立大学／尚絅大学

八木 宣諦	安 裕明	安原 亜悠	柳田さやか	矢原 徳子	山内 常正	山崎真由美	山本 彩	山本 興	山本 祐司	湯澤 聡	横田 恭三	吉川美恵子	吉田 繁	和田 圭壮	和田 幸大	渡瀬 仁
東京都	茨城県	岡山県	神奈川県	広島県	静岡県	東京都	広島県	島根県	愛知県	広島県	埼玉県	奈良県	埼玉県	福岡県	東京都	静岡県
茨城大学	岡山県	岡山県	岡山県	尾道大学	静岡大学	都立新宿高等学校	筆の里工房	県立松江農林高等学校	安城学園高等学校	安田女子大学	跡見学園女子大学	奈良教育大学	東京学芸大学名誉教授	福岡教育大学	東京大学史料編纂所	

平成二十四年八月一日現在

新入会員推薦のお願いならびに入会申し込みについて

会員の皆様から、新入会員（準会員）をご推薦いただき、本会の一層の充実を図りたいと考えております。会報の最終ページの申込書をコピーの上、お申し込みいただきたくお願い申し上げます。

〈入会手続き〉

- * 「新入会員用会員原票（入会申込書）」に必要事項を記入の上、**事務局・会計担当（下記所在地）まで郵送またはFAX（042-743-4717）**してください。
- * 新入会員用会員原票（入会申込書）の受領ならびに入会年度年会費の払い込みを確認した後、常任理事会の承認を経て、総会で新入会員（準会員）の報告をいたします。
- * 年会費は、会員 6,000 円、準会員 5,000 円です。なお、大学院生（準会員）は、大学院修了後は、会員の資格として扱います。
- * 送金は、事務局・会計担当まで郵便振替払込用紙（赤色用紙）をご請求いただき、郵便振替にてお願いいたします。（用紙の通信欄に、「新入会員入会年度年会費」もしくは「新入準会員入会年度年会費」と明記してください。）
- * 払込先は下記の通りです。

■ 口座番号 00110 - 9 - 613810 ■ 加入者名 全国大学書道学会
 〈事務局・会計担当〉 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1
 TEL 042-749-1405
 相模女子大学学芸学部 柿木原研究室内 全国大学書道学会事務局（会計担当）

全国大学書道学会新入会員（準会員）用会員票 入会申込書

どちらかに○〔 会員・準会員 〕 申込年月日 平成 年 月 日

郵便番号 〒 —	
住 所（自宅）	
帰省先（大学院生のみ記入） 〒 —	
ふりがな 氏 名 雅号	
電話（自宅）（ ）	
FAX（自宅）（ ）	
e-mail 自宅・勤務先	
所属機関	名 称
	会 員：名誉教授 教授 准教授 講師 助教 助手 非常勤講師 教諭 その他（ ） 準会員：大学院 博士課程 修士課程
所在地（所属機関） 〒 —	
電話（所属機関）（ ）	
FAX（所属機関）（ ）	
推薦者（会員）氏名	
推薦理由	
本会規約第2条に定めた資格（国公立大学・短期大学・付属学校・専門学校の書道担当教員、及び元会員）に該当する方は、推薦者及び推薦理由の記入は不要です。	

* ご記入いただいた住所・氏名等の情報は、本学会事務のために利用し、そのほかの目的では利用しません。

事務局〔会計担当〕相模女子大学 柿木原くみ 宛 郵送・FAX 願います。

送付先 〒 252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

FAX 042-743-4717

相模女子大学学芸学部 柿木原研究室内 全国大学書道学会事務局（会計担当）